

| | | | | | |
|-------|------------|---------|-------------|--------------------------------|-------------------|
| 授業科目名 | 基礎ゼミナール I | | 担当教員 | ◎吉野妙子、○鈴木玲子、 久保幸代、松本幸枝、川上裕子 | 科目ナンバリング LE137 |
| 必修 | 開講年次：1 年前期 | 単位：1 単位 | 授業形態：演習30時間 | | |

【授業概要】

基礎ゼミナール I を通し、主体的学習活動に不可欠な基本的なスタディ・スキルズを身につけ、さらに大学での学修を理解する。また、グループワークを通し、コミュニケーション・チームワーク能力を培う。

【達成目標】

1. 基本的スタディ・スキルズ(情報リテラシー・読む・調べる・まとめる・書く・伝えるスキル)を身につける。
2. 大学での学習の実際と看護学の学び方について理解する。
3. グループ演習での学生・教員間の意見交換を通し、自分の考えを伝え、相手の考えを聞き、グループの考えをまとめる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] オリエンテーション・大学で何をどう学ぶか・看護学の学び方について・リーディングスキル・課題の明確化
- [02] ノート・テイキング
- [03] わかりやすい文章
- [04] 文章の要約
- [05] 文献とは何か
- [06] 情報モラル・情報収集(文献・書籍検索・ICT の活用)・情報の分析と整理
- [07] 文献検索と文献リストの作成
- [08] プレゼンテーションの基本スキル
- [09] レポートの作成方法①
- [10] レポートの作成方法②
- [11] 演習
- [12] 演習
- [13] グループ演習：発表
- [14] グループ演習：発表
- [15] 演習

【教科書】

学習技術研究会(2019)：知へのステップー大学生からのスタディ・スキルズ(第5版)，くろしお出版。

【参考書】

佐藤望編著(2012)：アカデミック・スキルズー大学生のための知的技法入門(第2版)，慶應義塾大学出版会。
北尾謙治他(2005)：広げる知の世界ー大学でのまなびのレッスン，ひつじ書房。

【評価方法・評価基準】

演習課題(75%) 課題探究・発表に向けた実践活動(25%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：教科書の指定された箇所や資料を読み内容を理解しておく。

事後学習：授業内で提示された課題を記述する。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ．教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅲ．チーム医療におけるコミュニケーションとコラボレーション能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは必要なコメントを付しフィードバックする。演習への取り組みやグループ討議について適宜助言し、進めていく。

【備考】

基礎ゼミナール I の学習は、これからの大学でより良い学びをしていくための基礎となるため、主体的・積極的に取り組むこと。